

経営ビジョンを実現するDX戦略

DX FOCus

株式会社トーシンパートナーズホールディングス

経営ビジョン / トップメッセージ

私たちトーシンパートナーズグループは、「不動産の新たな価値を創造し、一人ひとりの豊かな暮らしと、活力ある社会を実現する」をグループミッションとして掲げ、その実現に向けて日々の仕事に取り組んでおります。

現在、コロナ禍で世界が揺れる中、人々の生活様式、価値観、働き方などが大きく変化し、ニューノーマル時代における「不動産の新たな価値」を探求しながら、継続的な成長ができる企業へと邁進していくためには、DXによるデジタル技術とデータの活用を急がなければならないと考え、経営戦略の一つとしてDXを進めています。

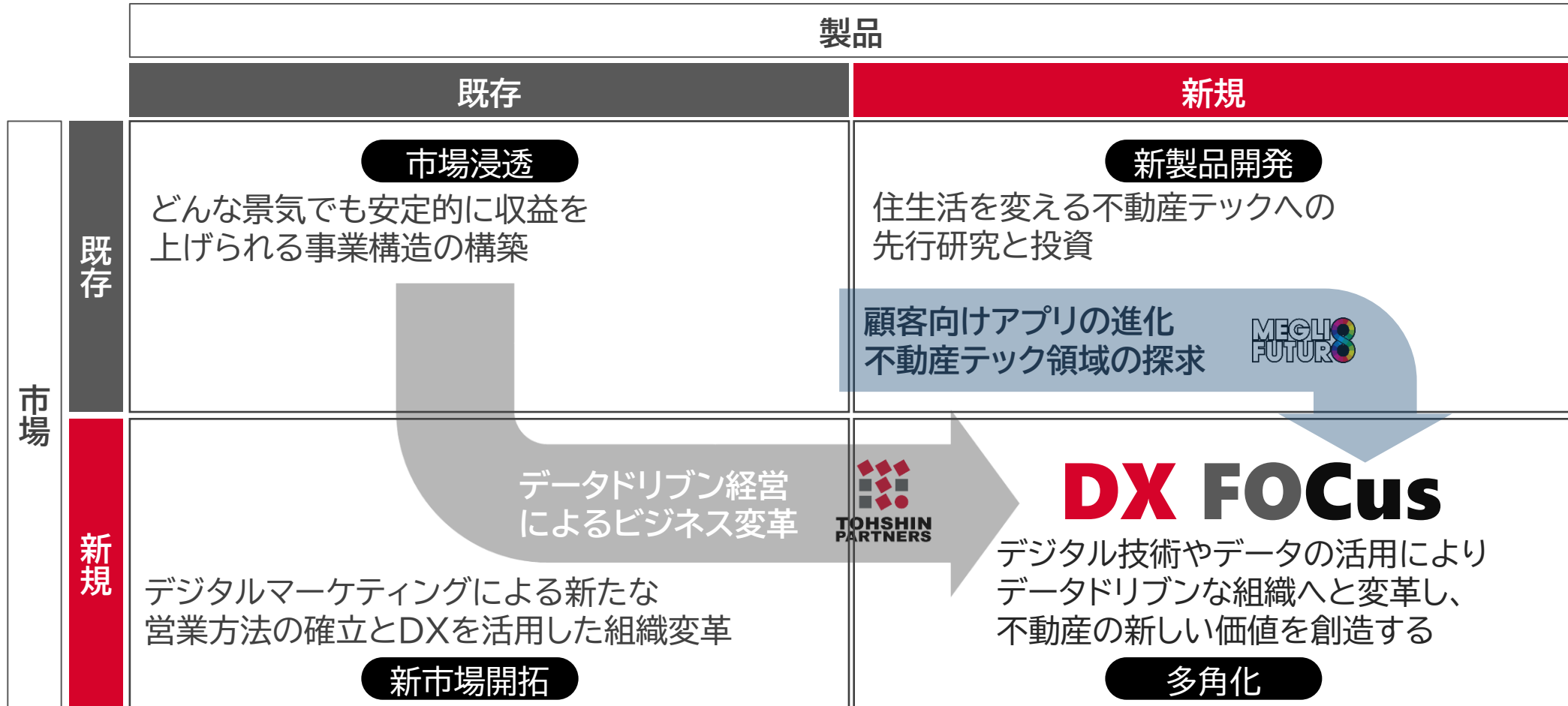
当社グループは、今後も多様化する顧客ニーズへの対応とさらなる経営効率の向上を図るため、データドリブン経営の実現に向けて取り組んでまいります。

株式会社トーシンパートナーズホールディングス
代表取締役社長
千代谷 直之

ビジョン2025

新たな成功のカタチとさらなる安心をつくる

現状維持では当社の企業価値は陳腐化し、利益は減少する。グループ一丸となって変革に向けたDXを推進し、デジタル技術とデータを活用によって、新領域の探索と既存領域の深耕をめざす。



経営ビジョンに基づくDX戦略 / DX戦略

DX戦略の基本方針

- 社内における情報のデジタル化とデータ活用を進め、データドリブンな組織文化を作りあげる
- データによる意思決定の高度化で、多様化する顧客ニーズへの対応と経営効率の向上を図る
- メリオフトゥー口社の強みである高い技術力と研究開発力により、独自サービスを提供する
- 両者の新結合により、住生活に変革をもたらす

DX FOCus

デジタルトランスフォーメーション

デジタル技術やデータの活用により
データドリブンな組織へと変革し、
不動産の新しい価値を創造する

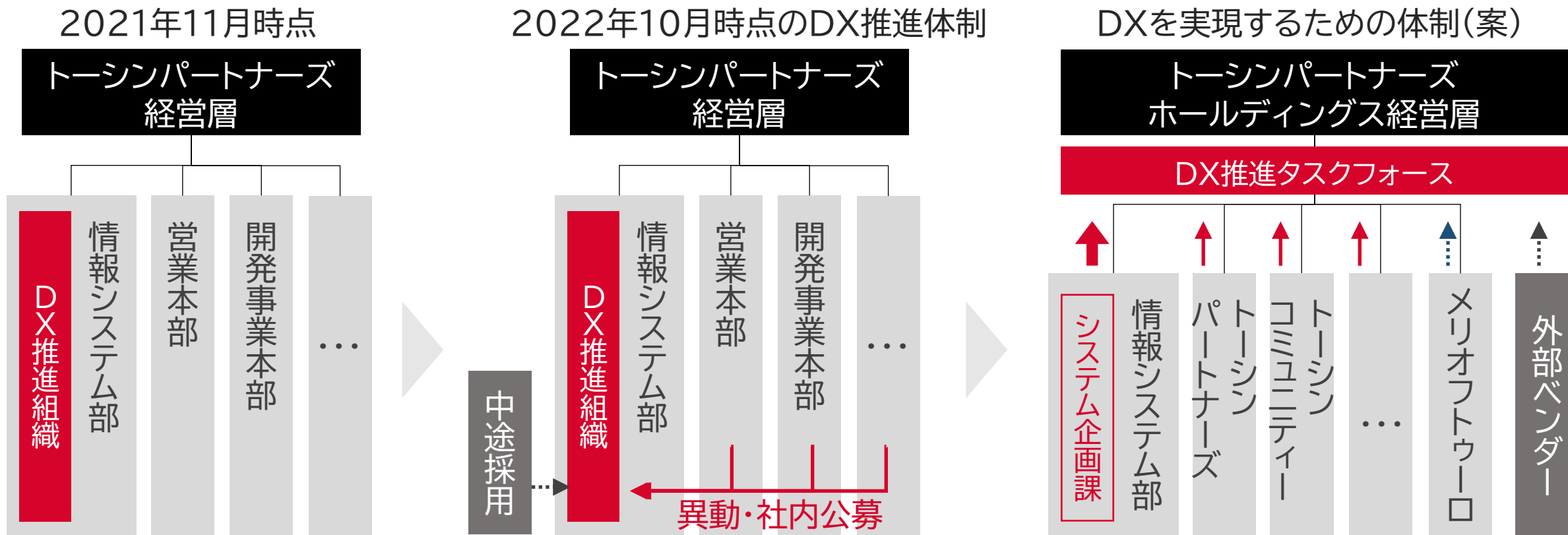
FOCUS

データの活用によって注力すべき競争領域へ焦点を絞った経営資源の集中と選択を実現し、経営の高度化を図る

For Our Customer
不動産テック領域における独自サービスにより、顧客へ向けた価値創出を目指し、一人ひとりの豊かな暮らしと活力ある社会の実現につなげる

DX戦略実行のための体制 / DX推進組織

2021年11月にDX推進組織を情報システム部内に設置し、DX推進施策を進行中。今後、ビジネス部門の業務知識を活かしつつデジタル応用力を育成し、グループ横断のクロスファンクショナルチームとして拡大していく



DX戦略に基づく各施策毎に指標と目標値を定め、達成度を図っていく

	施策	指標	目標値
①	業務プロセス見直し 業務プロセス見直しとkintoneやRPA・iPaas等のITツールを活用した業務効率化により、社員の生産性向上を図る	累計業務削減時間	2025年度までに 年間23,040時間
②	データ分析による意思決定高度化 全社横断的なCoEデータ分析組織により、現場の感覚にあった分析結果に腹落ち・納得してアクションに移れる体制を構築する	増力化・効率化ビジネスインパクト	2025年度までに 2.0億円
③	IT投資見直し 両利き経営に向けた、ラン・ザ・ビジネスのためのシステム費用の削減とビジネス拡大のためのバリュー・アップ投資の拡大を図る	IT投資における攻めと守りの割合	2025年度までに 40:60
④	ゼロトラストセキュリティ クラウドサービスの利用促進による事業の開始・撤退のスピードアップやリモートワークによる生産性の向上を図る	情報セキュリティ対策ベンチマークを基にした第三者機関診断	2023年度までに 95点(135点中)
⑤	ITリテラシーの向上 デジタル社会の進展に対応すべく、ビジネス部門でデジタルやITを業務推進に活用し、使いこなすための知識をつける	現場側でローコード開発やデータ分析を行う社員の数	2025年度までに 60名

DX戦略に基づく施策 / ロードマップ

ビジョン実現に向けたロードマップ

